

**不適合情報**

2022年4月21日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	3号機	中央制御室空調設備点検において、通常外気取入ダクト内に点検口の閉止板が混入していたことを確認した。当該ダクトは2019年5月に交換しており、その作業で混入させたものと推定。閉止板を回収し、ダクト内面に損傷がないことを確認して空調を復旧。当該事象の原因を調査し、再発防止策を検討・実施。なお、中央制御室の空調設備の損傷およびダンパの開閉に干渉がなかったことから、空調機能に影響のないことを確認済み。	2022/04/18	—

3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	軽油タンク(A)(B)基礎コンクリート部のコーティング材に、膨れを確認した。当該箇所を点検・修理。	2022/04/15	
2	1号機	放射性廃棄物処理設備の点検において、除染廃液系排水槽液位計(No. 1、No. 2)スイッチが、接断差(動作値と復帰値の差)の許容範囲から外れて動作していることを確認した。当該液位計スイッチを交換。	2022/04/15	
3	5号機	原子炉補機冷却海水系ポンプ(B)(D)点検後の復旧作業において、原子炉補機冷却系熱交換器海水ストレーナー(D)の差圧計に、指示値が上限値を超えていることを確認した。調査の結果、ストレーナーの詰まりと推定。当該ストレーナーを点検・清掃。	2022/04/18	
4	6号機	タービン建屋中1階(非管理区域)6号機~5号機間アクセス通路コンクリート壁面の亀裂部に、雨水染み出しおよび床面に水溜まり(約80cc)を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2022/04/16	